

一戸町独自の農業緊急支援事業の施策効果  
に関するアンケート調査集計結果  
報告書

2023年6月

一戸町

# 目次

---

I. アンケート調査の概要	1
(1) 一戸町独自の農業緊急支援事業内容	3
II. 調査回答者（事業申請者）の属性	4
(1) 年齢（年代）	4
(2) 経営品目	4
(3) 経営規模	4
III. 調査結果	5
1 一戸町農業生産費高騰対策事業費補助金	5
(1) No. 3 生産費高騰の影響（前年比）	5
(2) No. 4 生産費高騰への支援率	5
(3) No. 5 生産費高騰対策事業費補助金の効果	6
2 一戸町大雨等農作物被害農家緊急支援金	8
(4) No. 6 大雨等による被害状況（令和4年当初生産見込比）	8
(5) No. 7 大雨等による被害への支援率	8
(6) No. 8 大雨等農作物被害農家緊急支援金の効果	9
3 一戸町乳用牛・肉用牛飼料価格高騰対策緊急支援金	11
(7) No. 9 飼料費高騰の影響	11
(8) No. 10 飼料費高騰への支援率	11
(9) No. 11 飼料価格高騰対策緊急支援金の効果	12
4 一戸町収入保険加入促進事業費補助金	13
(10) No. 12 収入保険加入促進事業費補助金の効果	13
(11) No. 13 収入保険の魅力	14
5 今後必要な支援等	15
(12) No. 14 今後必要な支援	15
(13) No. 15 町への意見、要望等	19
IV. 調査票	22

## I アンケート調査の概要

### ① 調査の目的

令和4年度（令和4年4月～令和5年3月）に、肥料や飼料、燃料などの生産費高騰による影響に対して、農業者等の経営継続を支援するため、実施した「一戸町独自の農業緊急支援事業」の施策効果の把握と今後の施策立案等の資料とすることを目的としています。

### ② 調査の設計

調査対象	令和4年度に実施した「一戸町独自の農業緊急支援事業」を申請し、交付を受けた個人及び法人
対象者数	282 経営体
調査方法	アンケート（郵送、Web またはファイル提出のいずれかにより回答）
調査期間	令和5年4月17日（月）から5月12日（金）まで （集計対象5月31日）

### ③ 調査の内容

設問		調査項目
経営内容	No. 1	経営状況（経営品目、経営規模）
申請した事業	No. 2	申請した事業
一戸町農業生産費高騰対策事業費補助金	No. 3	生産費高騰の影響（前年比）
	No. 4	生産費高騰への支援率
	No. 5	生産費高騰対策事業費補助金の効果
一戸町大雨等農作物被害農家緊急支援金	No. 6	大雨等による被害状況（令和4年当初生産見込比）
	No. 7	大雨等による被害への支援率
	No. 8	大雨等農作物被害農家緊急支援金の効果
一戸町乳用牛・肉用牛飼料価格高騰対策緊急支援金	No. 9	飼料費高騰の影響
	No. 10	飼料費高騰への支援率
	No. 11	飼料価格高騰対策緊急支援金の効果
一戸町収入保険加入促進事業費補助金	No. 12	収入保険加入促進事業費補助金の効果
	No. 13	収入保険の魅力
今後必要な支援等	No. 14	今後必要な支援
	No. 15	町への意見、要望等

#### ④ 回収結果

対象者数	282 経営体
回収件数	128 経営体
回収率	45.4%

	件数	比率
回収件数	128 経営体	100.0%
郵送回答	114 経営体	89.1%
Web 回答	13 経営体	10.1%
ファイル提出	1 経営体	0.8%

#### ⑤ 報告書の見方

・集計結果は、各設問、「アンケート設問」→「結果コメント」→「集計結果表とグラフ」→「設問選択理由（該当設問のみ）」→「その他の記述内容（該当設問のみ）」の順に掲載しています。

- ・円グラフの数値は、設問中の選択肢の順に表記しています。
- ・設問中の選択肢の文字数が多いものについては、本文中や図表中において、便宜上短く省略している場合があります
- ・比率（％）は、各設問の回答者数を基数として算出しています。
- ・集計結果は全て、小数点以下第2位を四捨五入していますので、比率の合計が100.0%ではない場合があります。
- ・回答が必要な設問に未回答の場合は、無回答として集計しています。

反対に、回答が不必要の設問に回答している場合は、無効とし、集計に含めていません。

- ・複数の方法により回答があった場合は、最新の回答内容を優先して集計しています。
- ・(12)「No. 14 今後必要な支援」については、優先順位毎に点数化し、合計値を集計しています。複数を選択し、優先順位を付けられていない場合は、全て1位とみなして合計値を集計しています。

(例1) 優先順位を付けている場合

選択肢	順位		点数
ア. 生産費高騰等に対する給付金	1	→	7
イ. 機械導入に係る支援（補助金）	2	→	6
ウ. 農地の改良（暗渠等）に係る支援	3	→	5

(例2) 優先順位を付けていない場合（○で選択されていた場合）

選択肢	順位		点数
ア. 生産費高騰等に対する給付金	○	→	7
イ. 機械導入に係る支援（補助金）	○	→	7
ウ. 農地の改良（暗渠等）に係る支援	○	→	7

## (1) 一戸町独自の農業緊急支援事業内容

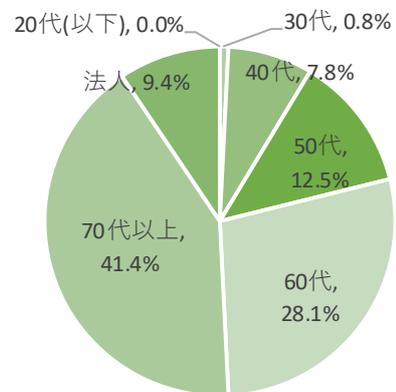
一戸町では令和4年度（令和4年4月～令和5年3月）に、肥料や飼料、燃料などの生産費高騰による影響に対して、農業者等の経営継続を支援するため、以下の緊急支援事業を実施しました。

<b>ア. 一戸町農業生産費高騰対策事業費補助金（8月～10月）</b>
<b>●概要</b> 新型コロナウイルス等の影響による農業生産資材の価格高騰対策として、補助金を交付し、農業経営の継続を支援する。
<b>●実施期間：</b> 令和4年8月～令和4年10月
<b>●事業内容</b> 下記計算式で求めた補助金の額を交付する。（千円未満切捨・上限175万円） <b>【計算式】</b> 令和3年中に支出した肥料費、飼料費及び動力光熱費の合計額×7%×1/2
<b>イ. 一戸町大雨等農作物被害農家緊急支援金（10月～3月）</b>
<b>●概要</b> 令和4年7月～8月の長雨、日照不足や記録的豪雨により、園芸等品目が甚大な被害を受けたため、支援金を支給し、農業者の生活及び営農継続を支援し、産地を維持する。
<b>●実施期間：</b> 令和4年10月～令和5年3月
<b>●事業内容</b> 各園芸等品目毎に定めた農業生産費、被害率等を基に算出した支援金の額を支給する。 <b>【式】</b> 農業生産費×被害面積×被害率（千円未満切捨）
<b>ウ. 一戸町乳用牛・肉用牛飼料価格高騰対策緊急支援金（2月～3月）</b>
<b>●概要</b> 世界的な穀物価格の上昇等の影響による飼料の価格高騰対策として、支援金を交付し、牛飼養農家の経営継続を支援し、産地を維持する。
<b>●実施期間：</b> 令和5年2月～3月
<b>●事業内容：</b> 乳用牛又は肉用牛1頭あたり7,000円を支給する。
<b>エ. 一戸町収入保険加入促進事業費補助金（10月～1月）</b>
<b>●概要</b> 自然災害等の影響による農業者の経営安定化に資するため、収入減少を補填する収入保険に加入する際の保険料の一部に対して、補助金を交付する。
<b>●実施期間：</b> 令和4年10月～1月
<b>●実施内容</b> 保険料総額のうち積立金と付加保険料（事務費）を除く保険料の2分の1以内の額を補助する。なお、岩手県農業共済組合を通じて補助金を交付する。

## Ⅱ 調査回答者（事業申請者）の属性

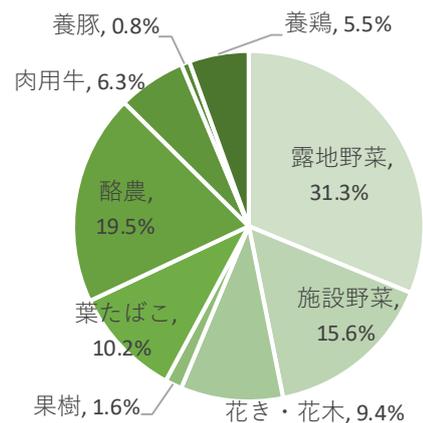
### (1) 年齢（年代）（回答数 128 経営体）

年齢（年代）	
選択肢	構成比（%）
20代（以下）	0.0%
30代	0.8%
40代	7.8%
50代	12.5%
60代	28.1%
70代以上	41.4%
法人	9.4%



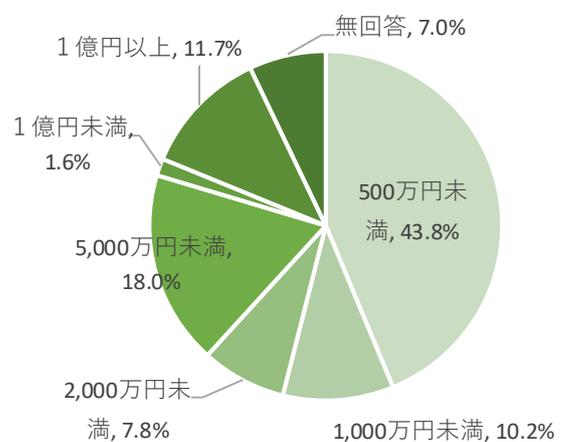
### (2) 経営品目（回答数 128 経営体）

経営品目	
選択肢	構成比（%）
露地野菜	31.3%
施設野菜	15.6%
花き・花木	9.4%
果樹	1.6%
葉たばこ	10.2%
酪農	19.5%
肉用牛	6.3%
養豚	0.8%
養鶏	5.5%



### (3) 経営規模（回答数 128 経営体）

経営規模	
選択肢	構成比（%）
500万円未満	43.8%
1,000万円未満	10.2%
2,000万円未満	7.8%
5,000万円未満	18.0%
1億円未満	1.6%
1億円以上	11.7%
無回答	7.0%



### Ⅲ 調査結果

#### 1 一戸町農業生産費高騰対策事業費補助金（回答数 84 経営体、比率 50.0%）

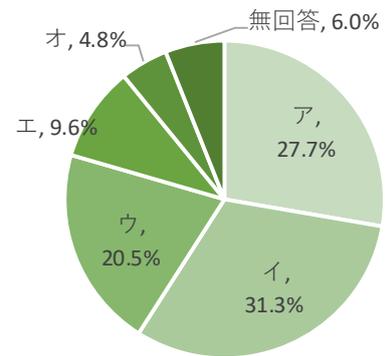
##### (1) 生産費高騰の影響（前年比）

No. 3 生産費が高騰する前（令和3年以前）と比較して、生産費高騰の影響（前年比）について、該当するものを一つ選んでください。

##### ・ 8割の経営体が「10%以上」の生産費が増加している（79.5%）

一方で、「1%以上10%未満の生産費の増加（エ）」と答えた経営体は9.6%、「変わらないまたは減少した」と答えた経営体は、4.8%となっています。

選択肢	構成比 (%)
ア. 30%以上の生産費増加	27.7%
イ. 20%以上30%未満の生産費の増加	31.3%
ウ. 10%以上20%未満の生産費の増加	20.5%
エ. 1%以上10%未満の生産費の増加	9.6%
オ. 変わらない または 減少した	4.8%
無回答	6.0%



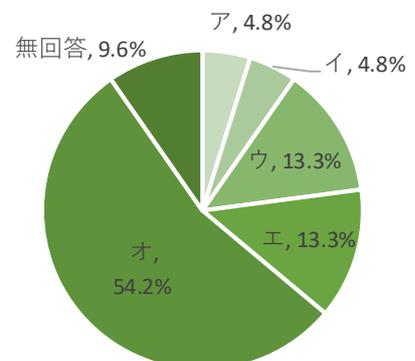
##### (2) 生産費高騰への支援率

No. 4 No. 3 で回答した生産費高騰の影響の増加率に対して、一戸町農業生産費高騰対策事業費補助金は概ねどの程度の支援率でしたか。該当するものを一つ選んでください。

##### ・ 半数の経営体が「25%未満の支援（オ）」と回答（54.2%）

次いで「50%以上75%未満の支援（ウ）」13.3%、「25%以上50%未満の支援（エ）」13.3%となっています。

選択肢	構成比 (%)
ア. 100%の支援	4.8%
イ. 75%以上100%未満の支援	4.8%
ウ. 50%以上75%未満の支援	13.3%
エ. 25%以上50%未満の支援	13.3%
オ. 25%未満の支援	54.2%
無回答	9.6%



### (3) 生産費高騰対策事業費補助金の効果

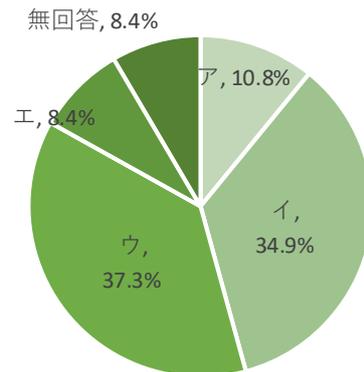
No.5 一戸町農業生産費高騰対策事業費補助金は、あなたの経営継続に対して、どの程度効果がありましたか。該当するもの一つを選び、選んだ理由を教えてください。

・半数の経営体が「(あまり)効果がなかった」と回答(45.7%)

一方で、半数の経営体は「(一定の)効果があった」と回答(45.7%)

最も多い回答は、「あまり効果がなかった(やや不満)(ウ)」(37.3%)で、次いで「一定の効果があった(おおむね満足)(イ)」34.9%となっています。

選択肢	構成比(%)
ア. 効果があった(満足)	10.8%
イ. 一定の効果があった(おおむね満足)	34.9%
ウ. あまり効果がなかった(やや不満)	37.3%
エ. 効果がなかった(不満)	8.4%
無回答	8.4%



#### (理由)

ア ・助かりました。(70代以上、酪農)

・支援して頂いた月は年間で一番動力光熱費が増加する時期であり助かりました。(法人、酪農)

・資金繰りが楽になった。(法人、酪農)

・ふくらんだ負債を減らすことができた。(40代、酪農)

・対応無いと思っていたため。(60代、肉用牛)

・助かった。(60代、酪農)

・燃料費が高くなって困っていたから。(50代、葉たばこ)

・生産費高騰分(肥料、動力光熱費)を補填できたから。(70代以上、露地野菜)

・その時は分からなかったが後で支払いの時によかった。(60代、露地野菜)

イ ・一時的ではあったが助かった。(60代、酪農)

・一定の効果はあったが、値上幅とのギャップが大きい。(法人、酪農)

・一定の効果はあったが、値上幅とのギャップが大きい。(法人、酪農)

・【web回答分】高騰分を賄えていない。【郵送回答分】営農に振り込みました。やはり30%ぐらいなので1ヶ月~2ヶ月の飼料分野で助かりました。ありがとうございました。(70代以上、酪農)

・飼料代(育成牛)の経費に利用した。(60代、酪農)

・支払いにあてる事ができた。(60代、酪農)

・飼料費増加の、約1ヶ月分が補えた。(40代、酪農)

・経費の圧縮(70代以上、酪農)

・予測を上回る高騰の速さに自助努力が追いつけない中の支援、感謝。(法人、肉用牛)

- ・肥料代にプラスになった。(70代以上、葉たばこ)
- ・肥料費の支払いをした。(70代以上、露地野菜)
- ・高騰分の負担に対してよかった。(70代以上、施設野菜)
- ・借金が払えた。(70代以上、露地野菜)
- ・少額でも効果あり。(70代以上、露地野菜)
- ・肥料費の高騰した分の足しにはなかったかな。(60代、露地野菜)
- ・ありがたかったです。(40代、施設野菜)
- ・高騰し始めだった為。R5 さらに高騰負担増。(50代、露地野菜)
- ・早い段階に実施していただけたら、もっと良かった(50代、養豚)
- ・動力光熱費高騰分を概ね補うことができた。(法人、養鶏)
- ・補助金に感謝致します。(法人、酪農)
- ・経営安定化が図られた。(50代、養鶏)
- ・肥料代にまわすことができた。(60代、露地野菜)

#### ウ

- ・少しは助かった。(70代以上、酪農)
- ・支援が少なかった。せめて30%欲しかった。(60代、肉用牛)
- ・足りない。(70代以上、酪農)
- ・もう少し欲しかった。(50代、肉用牛)
- ・補助金に上限があったから(基本的には今回、町の取り組みにはとても感謝しています)。(法人、酪農)
- ・生産物以上の高騰となり、支援では間に合わなかった。(40代、酪農)
- ・今になると忘れるくらいの小ささ(60代、葉たばこ)
- ・今後の経営の見通しが立たない。(70代以上、葉たばこ)
- ・経費に対しては少ないかなと思う。(40代、施設野菜)
- ・すべての生産費増の中ではどうにも。(60代、露地野菜)
- ・補助率が少ない。(50代、露地野菜)
- ・増加率に対して支援率が低い。(60代、露地野菜)
- ・無いよりはいいが、足りなかった。(40代、露地野菜)
- ・経営規模が大きいので見合わない金額だった。(法人、養鶏)
- ・値上率が多すぎた。(70代以上、養鶏)
- ・ありがたかったが、正直焼け石に水だった。(50代、養鶏)
- ・補助率が低かったため。(50代、施設野菜)
- ・一時的なので。(50代、酪農)
- ・他からの借入金が多額のため。(60代、酪農)
- ・事業の時期が遅かった。(70代以上、施設野菜)

#### エ

- ・現場の意見をもっと取り入れて補助率の算出をお願いします。予算ありきだと思います(50代、施設野菜)
- ・金額が少ない。(40代、露地野菜)
- ・少なすぎた。(50代、露地野菜)

- ・上昇率と合っていない。（30代、露地野菜）
- ・少ない。（70代以上、花き・花木）

## 2 一戸町大雨等農作物被害農家緊急支援金（回答数 83 経営体、比率 44.6%）

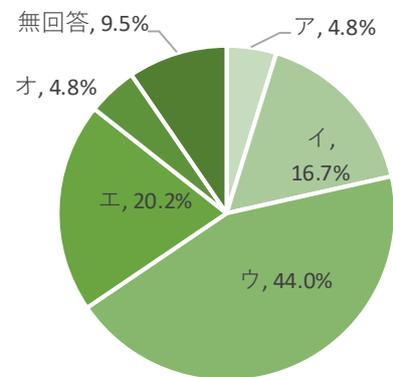
### (4) 大雨等による被害状況（令和4年当初生産見込比）

No. 6 令和4年8月の記録的豪雨や7月から8月までの長雨、日照不足は、令和4年当初の生産見込みと比較して、どの程度の被害がありましたか。該当するものを一つ選んでください。

#### ・半数の経営体が「25%以上 50%未満の被害（減収）（ウ）」と回答（44.0%）

次いで「1%以上 25%未満の被害（減収）（エ）」20.2%、「50%以上 75%未満の被害（減収）（イ）」16.7%となっています。

選択肢	構成比 (%)
ア. 75%以上の被害（減収）	4.8%
イ. 50%以上75%未満の被害（減収）	16.7%
ウ. 25%以上50%未満の被害（減収）	44.0%
エ. 1%以上25%未満の被害（減収）	20.2%
オ. 被害はなかった	4.8%
無回答	9.5%



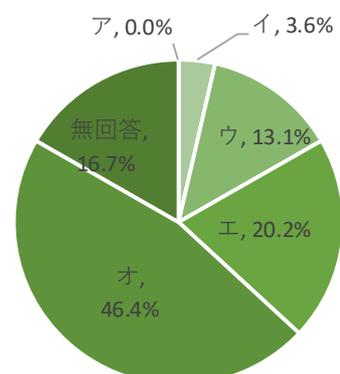
### (5) 大雨等による被害への支援率

No. 7 No. 6 で回答した大雨や長雨、日照不足による被害率に対して、一戸町大雨等農作物被害農家緊急支援金は概ねどの程度の支援率でしたか。該当するものを一つ選んでください。

#### ・半数の経営体が「25%未満の支援（オ）」と回答（46.4%）

次いで「25%以上 50%未満の支援（エ）」20.2%、「50%以上 75%未満の支援（ウ）」13.1%となっています。

選択肢	構成比 (%)
ア. 100%の支援	0.0%
イ. 75%以上100%未満の支援	3.6%
ウ. 50%以上 75%未満の支援	13.1%
エ. 25%以上 50%未満の支援	20.2%
オ. 25%未満の支援	46.4%
無回答	16.7%

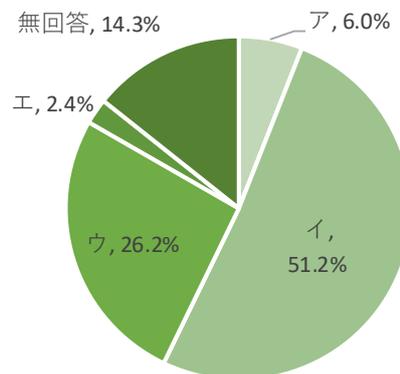


## (6) 大雨等農作物被害農家緊急支援金の効果

No.8 一戸町大雨等農作物被害農家緊急支援金は、あなたの経営継続に対して、どの程度効果がありましたか。該当するものを一つ選び、選んだ理由を教えてください。

- ・半数以上の経営体が「一定の効果があった（おおむね満足）（イ）」と回答（51.2%）一方で、「あまり効果がなかった（やや不満）（ウ）」26.2%となっています。

選択肢	構成比(%)
ア. 効果があった（満足）	6.0%
イ. 一定の効果があった（おおむね満足）	51.2%
ウ. あまり効果がなかった（やや不満）	26.2%
エ. 効果がなかった（不満）	2.4%
無回答	14.3%



### （その他コメント）

- ア
  - ・助かりました。（70代以上、葉たばこ）
  - ・十分な支援金だった。（40代、施設野菜）
  - ・JA 営農費の負債の軽減（60代、露地野菜）
- イ
  - ・消毒費用に使えた。（60代、花き・花木）
  - ・購買資材未収金の支払い（70代以上、施設野菜）
  - ・支払いに回すことができた。（60代、露地野菜）
  - ・パイプハウスの補修費に充当（70代以上、施設野菜）
  - ・資材支払い（70代以上、施設野菜）
  - ・少しでも減額の足しになった。（60代、花き・花木）
  - ・被害に近い額の支援だった。（70代以上、葉たばこ）
  - ・物価高のため。（70代以上、施設野菜）
  - ・令和5年の資材代等にまわせたから（一部）。（60代、葉たばこ）
  - ・赤字にならなくて済んだ。（70代以上、施設野菜）
  - ・肥料代、マルチ代、他。（60代、露地野菜）
  - ・大、中、小農家係わらず、一律給付が望ましい。（50代、肉用牛）
  - ・農業資材費にあてました。（70代以上、露地野菜）
  - ・思っていたより多かった。（70代以上、露地野菜）
  - ・厳しい時期をギリギリ乗りこえた。（40代、施設野菜）
  - ・業務手続が早かった。予定してなかったし、早期に入金された。（70代以上、露地野菜）
- ・なんとか今年も農業が出来ます。支援金の話がなければ今年は農業が出来ないと諦めていた。ある

若者が9月から農業以外の仕事についたと聞いた。若いとそういう事も出来るが。(60代、露地野菜)

- ・営農が赤字になったのが、足しになった。(70代以上、露地野菜)
- ・予想以上の支援金(70代以上、露地野菜)
- ・農業資材等の支払いが終わることが出来ました。(60代、露地野菜)
- ・自然災害でもらえると思っていなかったから農機具代の支払いに助かった。(70代以上、露地野菜)

・収穫2年目が水害にあい、泥の除去等、人手を必要とした一部にありがたく使わせていただいた。(60代、果樹)

・収入保険やJTからの災害対策金で9割ぐらい収入補償してもらった。農業経営においては少しでも支援してもらえて助かった。(50代、葉たばこ)

- ・今年も営農する資金が確保できました。(40代、施設野菜)
- ・一部の費用の役に立った。(60代、露地野菜)
- ・支援金により、次年度営農継続の目処がたったから。(70代以上、露地野菜)
- ・初めての支援で大変助かった。(50代、露地野菜)
- ・収入が少なくなった中、助かりました。(50代、露地野菜)
- ・迅速な対応だった。(60代、露地野菜)
- ・借金の減少(70代以上、露地野菜)
- ・固定費の補填になり支払いにあてる事ができた。(50代、露地野菜)
- ・資材費の支払いができた。(60代、露地野菜)

ウ ・支援金が少なかった。(70代以上、花き・花木)

- ・金額が少ない。(60代、花き・花木)
- ・支援はありがたかったが物足りない感じだった。(60代、露地野菜)
- ・被害が大きかった。(60代、露地野菜)
- ・肥料代にも足りなかった。(60代、葉たばこ)
- ・被害に対して額が少ない。(60代、葉たばこ)
- ・ある程度経費を補填できたが、次年度の資金に足りない。(40代、露地野菜)
- ・保険等、考えるきっかけになった。(70代以上、葉たばこ)
- ・大いに助かったが満足とは言えない。(70代以上、施設野菜)
- ・経費多額。クレジットの支払いができました。(60代、露地野菜)
- ・前年度対比で見られた事に不満、R4年に大幅に面積拡大した分が丸々被ってしまった。(30代、露地野菜)

エ ・無いよりは良いが、まったく足りなかった。(40代、露地野菜)

### 3 一戸町乳用牛・肉用牛飼料価格高騰対策緊急支援金（回答数 36 経営体、比率 52.2%）

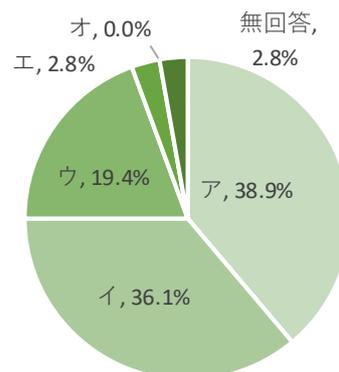
#### (7) 飼料費高騰の影響

No. 9 飼料費が高騰する前（令和3年以前）と比較して、飼料費高騰の影響（前年比）について、該当するものを一つ選んでください。

##### ・ほぼ全ての経営体で「飼料費が増加した」と回答（97.2%）

最も多い回答は「30%以上の飼料費増加（ア）」38.9%で、次いで「20%以上30%未満の飼料費の増加（イ）」36.1%、「10%以上20%未満の飼料費の増加（ウ）」19.4%となっています。

選択肢	構成比 (%)
ア. 30%以上の飼料費増加	38.9%
イ. 20%以上30%未満の飼料費の増加	36.1%
ウ. 10%以上20%未満の飼料費の増加	19.4%
エ. 1%以上10%未満の飼料費の増加	2.8%
オ. 変わらない または 減少した	0.0%
無回答	2.8%



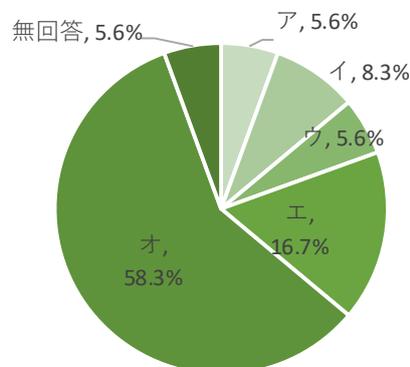
#### (8) 飼料費高騰への支援率

No. 10 No. 9 で回答した飼料費高騰の影響の増加率に対して、一戸町乳用牛・肉用牛飼料価格高騰対策緊急支援金は概ねどの程度の支援率でしたか。該当するものを一つ選んでください。

##### ・半数以上の経営体が「25%未満の支援（オ）」と回答（58.3%）

次いで「25%以上50%未満の支援（エ）」16.7%、「75%以上100%未満の支援（イ）」8.3%となっています。

選択肢	構成比 (%)
ア. 100%の支援	5.6%
イ. 75%以上100%未満の支援	8.3%
ウ. 50%以上75%未満の支援	5.6%
エ. 25%以上50%未満の支援	16.7%
オ. 25%未満の支援	58.3%
無回答	5.6%



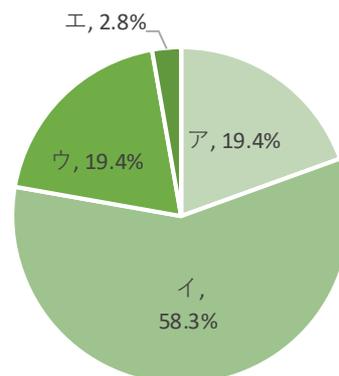
## (9) 飼料価格高騰対策緊急支援金の効果

No. 11 一戸町乳用牛・肉用牛飼料価格高騰対策緊急支援金は、あなたの経営継続に対してどの程度効果がありましたか。該当するものを一つ選び、選んだ理由を教えてください。

### ・ 8割の経営体が「(一定の) 効果があった」と回答 (77.7%)

一方で、「(あまり) 効果がなかった」と回答した経営体は、22.2%となっています。

選択肢	構成比 (%)
ア. 効果があった (満足)	19.4%
イ. 一定の効果があった (おおむね満足)	58.3%
ウ. あまり効果がなかった (やや不満)	19.4%
エ. 効果がなかった (不満)	2.8%
無回答	0.0%



### (理由)

- ア ・ 本当に感謝致します。(法人、酪農)  
・ 飼養頭数に対する、支援対策であったため満足。(法人、酪農)  
・ 資金繰りが楽になった。(法人、酪農)  
・ 飼養頭数に対する支援対策であったため満足。(法人、酪農)  
・ ふくらんだ負債を減らすことができた。(40代、酪農)  
・ 逆に財源が心配になった。(60代、肉用牛)  
・ 現状維持できる。(60代、酪農)
- イ ・ 収入減少に少しでも、穴うめが出来た。(60代、酪農)  
・ 助かりました。(70代以上、酪農)  
・ 経営が苦しい中、大変助かった。(60代、肉用牛)  
・ 大、中、小農家係わらず、一律給付が望ましい。(50代、肉用牛)  
・ 【web 回答分】そのまま放置されるよりは良かった。【郵送回答分】現在はやはり半年たって赤字経営になりました。今年も支援宜しく願っています。ロシアの戦争が続くのであれば町・国・県、農家を助けて下さい。(70代以上、酪農)  
・ 今回、一戸町の支援対応は野菜農家・畜産農家にとって、とても良いものだったと思っております。適正な対応をこれからもよろしく願います。(法人、酪農)  
・ 町として取組をしてくれることはありがたい。(70代以上、酪農)  
・ 現金決済に使った。(育成利用料) (60代、酪農)  
・ ロール乾草を買うことができた。(60代、酪農)  
・ 経費の圧縮 (70代以上、酪農)  
・ 対策の打つ手が尽きる中での支援に救われた。(法人、肉用牛)

- ・ 飼料費代にあてた。(60代、露地野菜)
- ウ ・ もう少し支援して欲しかった。(70代以上、酪農)
- ・ 少し足りない。(70代以上、酪農)
- ・ 生産物以上の高騰となり、支援では間に合わなかった。(40代、酪農)
- ・ 一時的なので。(50代、酪農)
- ・ 毎月高騰するため。(60代、酪農)

#### 4 一戸町収入保険加入促進事業費補助金 (回答数 24 経営体、比率 48.0%)

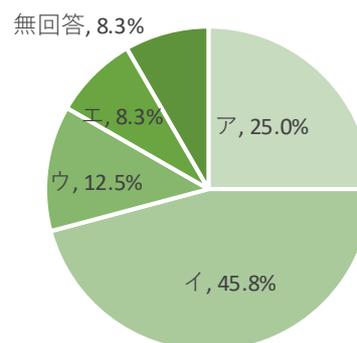
##### (10) 収入保険加入促進事業費補助金の効果

No. 12 一戸町収入保険加入促進事業費補助金は、あなたが収入保険へ加入するきっかけとして、どの程度効果がありましたか。該当するものを一つ選び、選んだ理由を教えてください。

##### ・ 7割の経営体が「(一定の)効果があった」と回答 (70.8%)

一方で、「(あまり)効果がなかった」と回答した経営体は、20.8%となっています。

選択肢	構成比 (%)
ア. 効果があった (満足)	25.0%
イ. 一定の効果があった (おおむね満足)	45.8%
ウ. あまり効果がなかった (やや不満)	12.5%
エ. 効果がなかった (不満)	8.3%
無回答	8.3%



##### (理由)

- ア ・ 加入2年目の助成でした。掛金が縮小できてありがたかった。(60代、果樹)
- ・ 申請時の支払いができました。(60代、露地野菜)
- ・ 経営に安心感がでる。(50代、露地野菜)
- ・ 支援があったので加入した。(60代、露地野菜)
- イ ・ 自然災害多発・人災害に備えて。(60代、露地野菜)
- ・ 保険料の補助金があるので加入できたから。(70代以上、露地野菜)
- ・ 掛金が大きくて迷っていたが補助金があったので。(60代、露地野菜)
- ・ 保険加入のきっかけになった。欲を言えば初回だけでも75%以上の補助が欲しい(初回は積立分の支払いもあるのでかなり苦しかった)(30代、露地野菜)
- ・ 継続して保険に加入できる。(70代以上、施設野菜)
- ウ ・ 補助率が少ない。(50代、露地野菜)
- ・ 前年から加入していた。(60代、花き・花木)
- エ ・ 収入保険にすでに加入していた。(50代、葉たばこ)

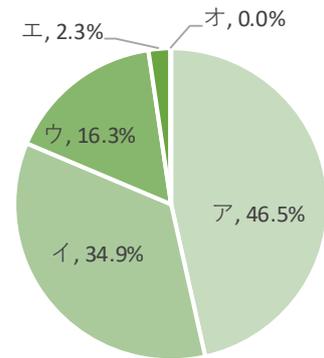
・初年度の保険料が高額の為。(40代、露地野菜)

### (11) 収入保険の魅力

No. 13 あなたの経営における、収入保険の魅力は何ですか。該当するものを二つまで選んでください。

・半数の経営体が「自然災害や価格低下による収入減少を補償（ア）」と回答（46.5%）  
次いで、「けがや病気、収穫後の自己なども含めて収入減少を広く補償してくれる（イ）」  
34.9%、「自分の売上をベースに補償してくれる（ウ）」16.3%となっています。

選択肢	構成比(%)
ア. 自然災害や価格低下による収入減少を補償	46.5%
イ. けがや病気、収穫後の自己なども含めて収入減少を広く補償してくれる	34.9%
ウ. 自分の売上をベースに補償してくれる	16.3%
エ. 既存の保険制度より掛金が安い	2.3%
オ. その他	0.0%



#### (その他コメント)

・加入初年度、さくらんぼ凍害被害で保険金を交付してもらった。ありがたかった。(60代、果樹)

5 今後必要な支援等（全員回答 回答者数 120 経営体）

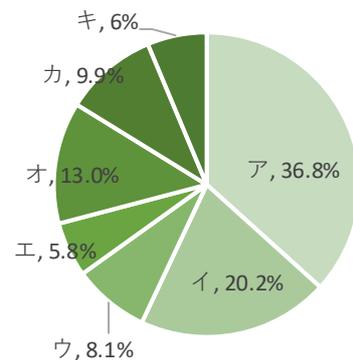
(12) 今後必要な支援

No. 14 あなたの経営に対して、今後必要な支援もしくは支援があれば強化したい内容について、該当するものを選んでください。複数ある場合は優先順位を教えてください。また、希望する具体的な支援の内容についても教えてください。

・ 4割の経営体が「生産費高騰等に対する給付金（ア）」と回答（36.8%）

次いで、「機械導入に係る支援（補助金）（イ）」20.2%、「鳥獣被害対策（オ）」13.0%となっています。

選択肢	構成比(%)
ア. 生産費高騰等に対する給付金	36.8%
イ. 機械導入に係る支援（補助金）	20.2%
ウ. 農地の改良（暗渠等）に係る支援	8.1%
エ. 国、県、町の各種制度に係る情報提供	5.8%
オ. 鳥獣被害対策	13.0%
カ. 担い手や雇用等の「人」に係る支援	9.9%
キ. その他	6%



（具体的な支援希望内容）

- ア
- ・ 肥料費、光熱費に対する助成（70代以上、露地野菜）
  - ・ 肥料、資材代の給付金（60代、花き・花木）
  - ・ 肥料・燃料などの高騰による補助（70代以上、葉たばこ）
  - ・ 市場運賃（70代以上、露地野菜）
  - ・ 収入に対して半額が経費で引かれる。（70代以上、施設野菜）
  - ・ 農薬資材などの支援（60代、露地野菜）
  - ・ 堆肥、肥料代（60代、葉たばこ）
  - ・ 続けて行うような支援してほしい。（70代以上、酪農）
  - ・ 継続的な支援をお願いしたい。（法人、酪農）
  - ・ 牛1頭につき1万ぐらいの給付をお願いしたい。（60代、肉用牛）
  - ・ 飼料代（70代以上、酪農）
  - ・ 一戸町乳用牛肉用牛の支援金を継続して頂きたい。（法人、酪農）
  - ・ 光熱費の上昇を危惧（法人、酪農）
  - ・ 今後も継続してほしい。（法人、酪農）
  - ・ 8月～10月に実施していただいたのを希望します。（40代、酪農）
  - ・ 基本、町からの補助金は期待してはいけないと思っています。但し昨年度のような事態に対して緊急支援の為に財政に余裕をつくって置いてほしいです。（法人、酪農）
  - ・ ロシア・ウクライナ問題で生産費高騰が続いている為。（40代、酪農）

- ・肥料高騰対策、飼料高騰対策（70代以上、酪農）。
- ・根本的には乳価が上がらないとだめだ。（60代、酪農）
- ・まだ厳しい状況なのでお願いします。（60代、酪農）
- ・物価が上昇している状況なのでそれに対する補助金を希望します。（50代、施設野菜）
- ・今後も、支援事業の継続をお願いしたい。（40代、酪農）
- ・今をのり切る為。（70代以上、酪農）
- ・経営を継続する上での最大の不安定要素、機を得た対策があれば。（法人、肉用牛）
- ・農業者の力になる。（60代、酪農）
- ・お金が足りない。（60代、葉たばこ）
- ・灯油代、電気料金（ビニールハウス）（40代、施設野菜）
- ・国の事業へ町がカサ上げをしてほしい。（70代以上、露地野菜）
- ・肥料・資材高騰のため、収入がなくなる。（70代以上、露地野菜）
- ・野菜の種や農薬など（60代、露地野菜）
- ・ハウスビニールやマルチも値上がりが続いている。（50代、葉たばこ）
- ・生分解 MC などへ、もう少し強化を。（60代、露地野菜）
- ・高騰分に対する給付金（70代以上、露地野菜）
- ・昨年の収入が少なく春から負のスタートのため。（60代、露地野菜）
- ・肥料、マルチ、出荷資材（50代、露地野菜）
- ・肥料だけでなくいろいろな物が上がっている中、経営を続けようとするとかかなりの支援が欲しい。（50代、露地野菜）
- ・補助金（60代、露地野菜）
- ・急な高騰時に対応してほしい。（50代、露地野菜）
- ・今回と同じ資材費上昇の補填（法人、酪農）
- ・現在も生産費高騰が続いている中で、また割合に応じた給付金を検討していただきたい。（50代、養鶏）

- イ
- ・高齢になり機械導入によりカバーする。（70代以上、施設野菜）
  - ・補助金（60代、露地野菜）
  - ・県単で「ふるい」かけられたので。（70代以上、露地野菜）
  - ・幅広い機種、人数への支援（60代、花き・花木）
  - ・トラクター等の導入補助支援（60代、露地野菜）
  - ・機械の修理代（60代、葉たばこ）
  - ・国の事業にあわせて補助率 up（60代、酪農）
  - ・機械（70代以上、酪農）
  - ・ローダー、堆肥運搬トラック等の購入補助事業をお願いしたい。（法人、酪農）
  - ・堆肥製造にかかる機械等（法人、酪農）
  - ・ホイールローダーやダンプトラックなど（法人、酪農）
  - ・関係者でなければ詳細がわからない。（60代、肉用牛）
  - ・投資できない為。（70代以上、酪農）

- ・自給飼料の拡大を図る中、機械の高騰、老朽化は厳しい状況（法人、肉用牛）
  - ・継続・新規ともにコスト面で支援が必要（70代以上、葉たばこ）
  - ・農機具価格の高騰が激しく更新できる状況ではない。（70代以上、施設野菜）
  - ・人手不足により機械が必要（70代以上、露地野菜）
  - ・県単事業を増やしてほしい。総額が少ない。（70代以上、露地野菜）
  - ・次々と機械が壊れていくため。（70代以上、露地野菜）
  - ・機械の導入が高くて、そのため経営を断念している。（50代、露地野菜）
  - ・要件緩和。規模拡大ではなく現状維持でも可にしてほしい。（50代、露地野菜）
  - ・新しい機械導入の支援（60代、花き・花木）
  - ・一年に数日しか使わない機械をリースで使用できる支援（70代以上、施設野菜）
- ウ
- ・農地が連作病気で出来なくなる。（70代以上、施設野菜）
  - ・牛舎増築等（法人、酪農）
  - ・作業道等の補修・維持・改良の経費（70代以上、葉たばこ）
  - ・町全体で実施してほしい。（70代以上、露地野菜）
  - ・農地の基盤整備（60代、露地野菜）
  - ・農地集積も含めた支援（50代、露地野菜）
  - ・用水路、排水路の整備の支援（60代、花き・花木）
  - ・水はけ（60代、酪農）
- エ
- ・飼料米推奨の施策はいつまで？（法人、露地野菜）
  - ・畜産振興に係る、情報提供をお願いしたい。（法人、酪農）
  - ・規模拡大に係わる初期投資の負担軽減の為（40代、酪農）
  - ・連携して統一してほしい。（60代、肉用牛）
  - ・県北向け（中山間向け）制度を産地側から提案し構築してほしい。（50代、露地野菜）
  - ・畜産クラスター計画作成へ向けた更なる情報を希望（法人、養鶏）
  - ・捕獲した動物の処理（70代以上、果樹）
- オ
- ・猪、鹿を駆除してもらいたい。（70代以上、葉たばこ）
  - ・鹿やイノシシの農作物の被害（70代以上、葉たばこ）
  - ・産直に出荷する物の被害大である。（70代以上、施設野菜）
  - ・どのような対策があるか知りたい。（60代、露地野菜）
  - ・被害が増える様なら体に無理なのでやめる。（70代以上、花き・花木）
  - ・熊、イノシシ対策として電気柵（70代以上、酪農）
  - ・鹿・イノシシの被害年々増加（70代以上、施設野菜）
  - ・日本鹿、熊対策（70代以上、露地野菜）
  - ・クマ、イノシシ、シカ、カラス他が増えている。（50代、露地野菜）
  - ・電気柵接地費用の申請簡素化（60代、花き・花木）
  - ・熊、シカ、カラスの駆除（60代、酪農）
- カ
- ・高齢のために（70代以上、施設野菜）
  - ・担い手を増やしている農家には支援を出してほしい。（60代、肉用牛）

- ・ヘルパーに対する半額助成（５０代、肉用牛）
- ・繁忙期の人手確保、外国人等（７０代以上、露地野菜）
- ・人を雇用する事で、生産が増加する。（５０代、露地野菜）
- ・雇人費を優先支出して他は買掛金にしている。親の年金で払っている。（６０代、露地野菜）
- ・雇用についての支援は早急に考えていただきたいです。具体的に、人手不足について、外国人実習生を検討していますが住まわせる場所が無くて導入できません。一戸町で運営できる寮などを作ってもらいたいです。また、資材高騰も大変ですが資材を変えたりなどで対策可能、しかし、雇人費については削減が不可で且つ、何年最低時給が上がり費用の中で１番圧迫しています。（３０代、露地野菜）

- ・労働力があれば面積増やせる。（５０代、施設野菜）
  - ・一戸町外からの移住（雇用）に対し支援策希望（法人、養鶏）
- キ
- ・パイプハウス資材等の支援（ビニール）（７０代以上、施設野菜）
  - ・持続可能のための政策の提示（７０代以上、露地野菜）
  - ・農道の再整備が必要（７０代以上、葉たばこ）
  - ・水道を引くための支援（４０代、施設野菜）
  - ・ソバのコンバインを買って、貸出して下さい。放棄地対策になります。（６０代、果樹）
  - ・作業小屋の新築がしたい、改修したい。（７０代以上、花き・花木）
  - ・作業小屋の新築がしたい、改修したい。（５０代、花き・花木）
  - ・消費税減税（４０代、施設野菜）
  - ・農業用施設の整備に対する支援（６０代、露地野菜）
  - ・雇用労賃の補助（３０代、露地野菜）
  - ・GAP 審査費用の支援（５０代、露地野菜）
  - ・農地の情報（５０代、施設野菜）
  - ・水道料金の値下げ（５０代、養鶏）
  - ・税金免除（５０代、酪農）

(13) 町への意見、要望等

No. 15 今後の農業振興施策について、町への意見や要望等

(回答)

- ・生産費上昇により、今日までやってきた農業を継続することが困難となり自然淘汰にみまわられているような危機感にあります。(70代以上、露地野菜)
- ・気持ちはまだまだ若い人達を引っ張って行きたいが、体力が付いていかなくなりつつある為、要望は控えます。以上まとまりがないが勘弁して下さい。(70代以上、露地野菜)
- ・農業に関する支援(補助金)等の内容をわかる情報がもっと欲しい。(60代、露地野菜)
- ・今後も異常気象などによって毎年甚大な被害を受けるかもしれないので、支援金があれば安心して働けると思います。(70代以上、葉たばこ)
- ・今回申請した支援事業には、大変助けられました。ありがとうございました。(60代、酪農)
- ・昨年暮に乳牛から肉牛に切り替えて半年が過ぎますが、関係者の皆様に支えられていますが、手さぐりの中、気が付いたのが草の成分です。輸入牧草を食べさすよりも自分の場合自給飼料がありますが、草地も古くなり更新したいと思っています。チモシーの早刈りを試したいと思っています。(60代、肉用牛)
- ・今後も牧草及び、デントコーンの自家生産は増やしていきたいと考えております。引き続き耕作可能な不耕作地及び離農に伴う休耕圃場が発生しましたら、ご連絡を頂ければ幸いです。(法人、酪農)
- ・経営が苦しい中、大変役に立ちました。今後、担い手に農業を継いでもらうため、また、未来の農業を一戸町に残すためには、今の世の中の情勢では経営が厳しいと思います。少しでも、支援金などで私達を救ってほしいです。(60代、肉用牛)
- ・畜産経営を取り巻く環境が非常に厳しい状況に有る為、堆肥処理のローダーや運搬用のダンプ等更新への投資ができない状況に置かれています。  
又、耕種農家との連携を図る上で、堆肥の供給時期に速やかに行うための製品のストックヤードや耕種農家への堆肥散布機械のマニア(スプレッダー)、トラクターの取得に係わる補助事業を希望します。(法人、酪農)
- ・No.14の項目を、ぜひ実施してほしい。(法人、酪農)
- ・一戸町は農家にやさしいです(他と比べて)。これからもよろしくお願いします。(40代、酪農)
- ・【web 回答】休耕農地の速やかな紹介を平等に紹介してほしい。【郵送回答】酪農ですが孫が大学から帰って就農してくれていますが、経営が赤字だと申し訳ないです。牛舎も古いので新しく建てたいのですが国の補助とか、支援の内容とか、孫に今の状態だと無理なので、今後5年~10年後に、作れる様に頑張りたいです。(70代以上、酪農)
- ・次世代の経営戦略を若者たちと町とで話し合いを沢山もってほしい。(法人、酪農)
- ・後継者担い手が、気軽に参入できる町政の策定をお願いします。(40代、酪農)
- ・国の方向性が統一されない中、この局面を乗り越える様、頑張ってください。(60代、肉用牛)
- ・今後も目を向けてほしい。(70代以上、酪農)

- ・補助金、支援金ありがとうございました。（60代、酪農）
- ・補助金・支援金ありがとうございました。まだ厳しい状況は続いているので補助金など対応していただければ助かります。また、畑の空きがあれば借りたいので、お願いします。（60代、酪農）
- ・今回のアンケートですが回答に困る質問内容でした。もう少しわかりやすい様にお願いします。（50代、施設野菜）
- ・農業が基幹産業と言いつつも歳出額が少なすぎて一戸町は農業をあまり重要視していない。（70代以上、酪農）
- ・農業の担い手が高齢化等により減少し続ける状況ではありますが、まだ次世代を担う層の農業者が多々存在していることも確かな状況。そういった方々の意見交換の場を町役場が機会を作り、一戸町の農業のビジョン等の作成に連なる機会を継続的に作られてはと思います。（法人、肉用牛）
- ・空き地の有効活用。（60代、葉たばこ）
- ・町として農産物を特産品とすべく検討して推進してもらいたい。水田の整備は進んでいるが、畑地の利用がいまひとつ進んでいない。機械による作業が中心で、農林道の整備と畑地の集約が必要と思われる。他、物流も同時に合理的に関連づけて進めるべきと考えます。（70代以上、葉たばこ）
- ・給付金や支援より販売単価が上がるようにしてほしい。輸入を増やせばそれだけ国内産の販売単価が下がってきている。農家が減っているのに単価が上がらないのはおかしい。（40代、施設野菜）
- ・昨年大雨で、畑地の土が流出して作柄が不安定になった。土壌改良が必要だし、排水対策も同時に行いたいのが経費が多額すぎるので、ぜひ国の事業を町が事業主体となり、土壌改良と排水事業を受益者負担が低額で実施出来る様進めてほしい。今年の秋実施でお願いしたい。（70代以上、露地野菜）
- ・農家にとって毎年厳しい状況の中、農家を続けていくのが難しい状況です。野菜の価格は安く、資材等高くなり、やめていく人も周りにいます。農家の支援をお願いします。（70代以上、露地野菜）
- ・よろしくお願い致します。（70代以上、露地野菜）
- ・8月の水害でりんどう畑に泥が入って、人手で除去した。支援金3万円を充当できたが、人夫費は補助対象外とのことでした。農道整備は出来たものの、40万円に10万円の負担金は負担割合が多く、その補助率UPと人夫費への拡大も願いたい。（60代、果樹）
- ・自然災害増の中、畑から出る排水路整備なども願いたい。（60代、露地野菜）
- ・一戸町として、レタス又は促成アスパラ、しいたけなど全国的に優れている生産物のアピールをもっとしてほしい。これらを宣伝するために中山の支所の外の外壁に電光掲示板などを作って常にいろんな情報を発信してもらいたい。（例えば、夏はレタスの宣伝、冬は促成アスパラ、わかさぎ釣り）等。道の駅も中山に作ってほしい。（50代、露地野菜）
- ・ロシアによるウクライナ侵攻が終わって、元の状態に戻らないかぎり生産費の高騰は終わらないと思う。その間は支援を続けてほしい。（50代、露地野菜）
- ・ほとんどの生活必需品や資材が値上げの中、生鮮食品の売価は何十年も変わりません。もちろん、売価が高騰する時期もありますが、需要が無くなる為短期間です。経費に対し、売価が確保出

来ない状態なので、もちろん経営は出来ません。一戸町が今まで通りに農畜産業に力を入れて行くには、これまでとは違う対策や支援の必要があると思います。個人的に行政や支援金に頼る様な農畜産経営では事業体として経営してないと思っています。（４０代、露地野菜）

- ・野菜出荷の時、流通費（箱代など）は対象とならないか？（６０代、露地野菜）
- ・農地の幹旋、集約化を重点的にやってほしい（今後規模拡大を考えているので）。産直やふるさと納税返礼、アンテナショップなどの町独自の販路や一戸町へ加工業者の誘致をしてほしい（一戸町に加工工場が出来ればこちらも一番高い輸送コストが大幅に下がります）。（３０代、露地野菜）
- ・大手コンビニを中心とした青果物の調達基準が国際水準GAP品を求めてきている今がチャンスととらえ各品目（レタスに限らず、トマト等も）認証取得に積極的に取込む事で、強い農業経営ができると思います。（収入保険とセットで）その為には生産者だけでなく、JA・行政等がプロジェクトチーム的に仕掛けていき成功事例を数ヶ所作り、輪を広げていく。中山・小鳥谷・一戸・小友・中里というように各地にターゲットを決め戦略的にプランを構築する。（５０代、露地野菜）
- ・農地の集約・団地化をして作業の効率を上げる。（５０代、施設野菜）
- ・国の補助に対して後から県・町の補助が追加される場合がありますが、早い段階で意思表示？していただけたら、補助をどう使うかの判断が変わってくると思う。（５０代、養豚）
- ・畜産クラスター計画への更なる取り組み支援をお願いいたします。耕種連携、農福連携へ向け一戸町の地域特性を活かした計画が必要と考えます。（法人、養鶏）
- ・東奥中山地区は地下水の出が悪く、ボーリング代も他の地区より高額です。飲水不足で鶏を多く飼えないので水道料金を安くしてもらい、鶏に飲ませたい。高いボーリング費用が浮いて助かります。（５０代、養鶏）
- ・農業人口（仲間）が減っていく。（６０代、露地野菜）
- ・小規模農家への支援（７０代以上、果樹）

## IV 調査票

### 一戸町独自の農業緊急支援事業の施策効果に関するアンケート調査票

令和5年4月 一戸町産業部農林課

●青い欄  にご記入ください。

◇アンケートにお答えいただく方の連絡先等について◇

住所												
氏名												
電話番号												
年齢（年代）	<input type="checkbox"/>	20代（以下）	<input type="checkbox"/>	30代	<input type="checkbox"/>	40代	<input type="checkbox"/>	50代	<input type="checkbox"/>	60代	<input type="checkbox"/>	70代以上

No.1 あなたの現在の経営状況について教えてください。該当するものに○をつけてください。

【回答】

経営品目 (収入が一番多い品目)	<input type="checkbox"/>	露地野菜	<input type="checkbox"/>	施設野菜	<input type="checkbox"/>	花き・花木	<input type="checkbox"/>	果樹
	<input type="checkbox"/>	葉たばこ	<input type="checkbox"/>	酪農	<input type="checkbox"/>	肉用牛	<input type="checkbox"/>	養豚 養鶏

経営規模 (R3売上)	<input type="checkbox"/>	500万円未満	<input type="checkbox"/>	1,000万円未満	<input type="checkbox"/>	2,000万円未満
	<input type="checkbox"/>	5,000万円未満	<input type="checkbox"/>	1億円以上	<input type="checkbox"/>	

No.2 令和4年度（令和4年4月～令和5年3月）に実施した一戸町独自の農業緊急支援事業の中で、あなたが申請した事業全てに○をつけてください。

【回答】

<input type="checkbox"/>	ア. 一戸町農業生産費高騰対策事業費補助金（8月～10月）	⇒ No.3△
<input type="checkbox"/>	イ. 一戸町大雨等農作物被害農家緊急支援金（10月～3月）	⇒ No.6△
<input type="checkbox"/>	ウ. 一戸町乳用牛・肉用牛飼料価格高騰対策緊急支援金（2月～3月）	⇒ No.9△
<input type="checkbox"/>	エ. 一戸町収入保険加入促進事業費補助金（10月～1月）	⇒ No.12△

No.3 (No.2で「ア. 一戸町農業生産費高騰対策事業費補助金」を選んだ方がお答えください。(No.3～No.5) )

生産費※が高騰する前（令和3年以前）と比較して、生産費高騰の影響（前年比）について、該当するものを一つ選び、○をつけてください。

※この設問での生産費は「肥料費」「飼料費」「動力光熱費」を指します。

【回答】

<input type="checkbox"/>	ア. 30%以上の生産費増加
<input type="checkbox"/>	イ. 20%以上30%未満の生産費増加
<input type="checkbox"/>	ウ. 10%以上20%未満の生産費増加
<input type="checkbox"/>	エ. 1%以上10%未満の生産費増加
<input type="checkbox"/>	オ. 変わらないまたは減少した

No.4 No.3で回答した生産費高騰の影響の増加率に対して、一戸町農業生産費高騰対策事業費補助金は概ねどの程度の支援率でしたか。該当するものを一つ選び、○をつけてください。

【回答】

<input type="checkbox"/>	ア. 100%の支援
<input type="checkbox"/>	イ. 75%以上100%未満の支援
<input type="checkbox"/>	ウ. 50%以上 75%未満の支援
<input type="checkbox"/>	エ. 25%以上 50%未満の支援
<input type="checkbox"/>	オ. 25%未満の支援

No.5 一戸町農業生産費高騰対策事業費補助金は、あなたの経営継続に対して、どの程度効果がありましたか。該当するものを一つ選び、○をつけてください。また、選んだ理由を教えてください。

【回答】

<input type="checkbox"/>	ア. 効果があった（満足）
<input type="checkbox"/>	イ. 一定の効果があった（おおむね満足）
<input type="checkbox"/>	ウ. あまり効果がなかった（やや不満）
<input type="checkbox"/>	エ. 効果がなかった（不満）

【理由】

⇒	
⇒	
⇒	
⇒	

⇒ No.2で他に選択した事業に係る設問へお進みください。

⇒ No.2で他に選択した事業がない場合は、NO.14へお進みください。

No.6 (No.2で「イ. 一戸町大雨等農作物被害農家緊急支援金」を選んだ方がお答えください。(No.6~No.8))

令和4年8月の記録的豪雨や7月から8月までの長雨、日照不足は、令和4年当初の生産見込みと比較して、どの程度の被害がありましたか。該当するものを一つ選び、○をつけてください。

【回答】

<input type="checkbox"/>	ア. 75%以上の被害（減収）
<input type="checkbox"/>	イ. 50%以上75%未満の被害（減収）
<input type="checkbox"/>	ウ. 25%以上50%未満の被害（減収）
<input type="checkbox"/>	エ. 1%以上25%未満の被害（減収）
<input type="checkbox"/>	オ. 被害はなかった

No.7 No.6で回答した大雨や長雨、日照不足による被害率に対して、一戸町大雨等農作物被害農家緊急支援金は概ねどの程度の支援率でしたか。該当するものを一つ選び、○をつけてください。

【回答】

<input type="checkbox"/>	ア. 100%の支援
<input type="checkbox"/>	イ. 75%以上100%未満の支援
<input type="checkbox"/>	ウ. 50%以上 75%未満の支援
<input type="checkbox"/>	エ. 25%以上 50%未満の支援
<input type="checkbox"/>	オ. 25%未満の支援

**No.8** 一戸町大雨等農作物被害農家緊急支援金は、あなたの経営継続に対して、どの程度効果がありましたか。該当するものを選び、○をつけてください。また、選んだ理由を教えてください。

【回答】

<input type="checkbox"/>	ア. 効果があった（満足）
<input type="checkbox"/>	イ. 一定の効果があった（おおむね満足）
<input type="checkbox"/>	ウ. あまり効果がなかった（やや不満）
<input type="checkbox"/>	エ. 効果がなかった（不満）

【理由】

⇒	
⇒	
⇒	
⇒	

⇒ No. 2 で他に選択した事業に係る設問へお進みください。

⇒ No. 2 で他に選択した事業がない場合は、NO.14へお進みください。

**(No.2で「ウ. 一戸町乳用牛・肉用牛飼料価格高騰対策緊急支援金」を選んだ方がお答えください。(No.9~No.11))**

**No.9** 飼料費が高騰する前（令和3年以前）と比較して、飼料費高騰の影響（前年比）について、該当するものを選び、○をつけてください。

【回答】

<input type="checkbox"/>	ア. 30%以上の飼料費増加
<input type="checkbox"/>	イ. 20%以上30%未満の飼料費増加
<input type="checkbox"/>	ウ. 10%以上20%未満の飼料費増加
<input type="checkbox"/>	エ. 1%以上10%未満の飼料費増加
<input type="checkbox"/>	オ. 変わらないまたは減少した

**No.10** No.9で回答した飼料費高騰の影響の増加率に対して、一戸町乳用牛・肉用牛飼料価格高騰対策緊急支援金は概ねどの程度の支援率でしたか。該当するものを選び、○をつけてください。

【回答】

<input type="checkbox"/>	ア. 100%の支援
<input type="checkbox"/>	イ. 75%以上100%未満の支援
<input type="checkbox"/>	ウ. 50%以上 75%未満の支援
<input type="checkbox"/>	エ. 25%以上 50%未満の支援
<input type="checkbox"/>	オ. 25%未満の支援

**No.11** 一戸町乳用牛・肉用牛飼料価格高騰対策緊急支援金は、あなたの経営継続に対してどの程度効果がありましたか。該当するものを選び、○をつけてください。また、選んだ理由を教えてください。

【回答】

<input type="checkbox"/>	ア. 効果があった（満足）
<input type="checkbox"/>	イ. 一定の効果があった（おおむね満足）
<input type="checkbox"/>	ウ. あまり効果がなかった（やや不満）
<input type="checkbox"/>	エ. 効果がなかった（不満）

【理由】

⇒	
⇒	
⇒	
⇒	

⇒ No. 2 で他に選択した事業に係る設問へお進みください。

⇒ No. 2 で他に選択した事業がない場合は、NO.14へお進みください。

**No.12 (No.2で「工. 一戸町収入保険加入促進事業費補助金」を選んだ方がお答えください。(No.12~No.13))**

一戸町収入保険加入促進事業費補助金は、あなたが収入保険へ加入するきっかけとして、どの程度効果がありましたか。該当するものを一つ選び、○をつけてください。また、選んだ理由を教えてください。

【回答】

【理由】

	ア. 効果があった (満足)	⇒	
	イ. 一定の効果があった (おおむね満足)	⇒	
	ウ. あまり効果がなかった (やや不満)	⇒	
	エ. 効果がなかった (不満)	⇒	

**No.13 あなたの経営における、収入保険の魅力は何ですか。該当するものを2つまで選び、○をつけてください。**

【回答】

	ア. 自然災害や価格低下による収入減少を補償
	イ. けがや病気、収穫後の事故なども含めて収入減少を広く補償してくれる
	ウ. 自分の売上をベースに補償してくれる
	エ. 既存の保険制度より掛金が安い
	オ. その他 ( )

⇒ No. 2 で他に選択した事業に係る設問へお進みください。

⇒ No. 2 で他に選択した事業がない場合は、NO.14へお進みください。

**(全員が回答してください。)**

**No.14 あなたの経営に対して、今後必要な支援もしくは支援があれば強化したい内容について、該当するものに○をつけてください。複数ある場合は優先順位を教えてください。また、希望する具体的な支援の内容についても教えてください。**

具体的な支援希望内容

	ア. 生産費高騰等に対する給付金	⇒	
	イ. 機械導入に係る支援 (補助金)	⇒	
	ウ. 農地の改良 (暗渠等) に係る支援	⇒	
	エ. 国、県、町の各種制度に係る情報提供	⇒	
	オ. 鳥獣被害対策	⇒	
	カ. 担い手や雇用などの「人」に係る支援	⇒	
	キ. その他	⇒	

**No.15 今後の農業振興施策について、町への意見や要望などがあれば自由にご記入ください。**

【回答】

アンケートは以上です。御協力いただきありがとうございました。